

平成29年11月29日

議会運営委員会委員長 岡崎つよし

議員派遣結果報告書

平成29年第3回長久手市議会定例会において議決された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1 件名

議会報告会

2 目的

議会活動の報告及び意見交換

3 派遣場所

長久手市役所

4 期日

平成29年10月28日（土）の1日

5 派遣議員

全議員

6 概要

13時～ 集合、会場準備

14時～ 議会報告会開会

1部 テーマごとの報告

市役所庁舎の建替え（総務委員長）

教育環境・学校へのエアコン設置（教育福祉委員長）

地域共生ステーション整備（くらし建設委員課長）

14時50分～ 2部 3グループに分けて意見交換会

16時～ 片付け、解散

議会報告会の参加者は25人、アンケート提出は22人であった。

7 所感

1部の各常任委員会のテーマごとの報告はパワーポイントを使用し、各10分程度の説明で、ほぼ時間どおりに終わった。

2部の意見交換会は、少しでも多くの意見を聞くことができるよう、常任委員会の所管に関わらず3グループに分かれ、各グループで3つのテーマについて話し合った。意見交換終了後は、各グループで出た意見を報告した。

いただいた多くの意見は、各常任委員会に振り分け、意見に対する回答をホームページ及び議会だよりに掲載する予定である。

アンケート結果では、「議会報告会開催を知ったきっかけ」の36%が「チラシ」であった。昨年に比べて参加者が10人以上増えた要因は、議員1人につき300枚程度のチラシを配布した結果であると考えられる。その他、女性の参加者が2人と少ないのが残念である。また、参加者年齢が60～79歳が全体の77.3%であった。今後は若い方が参加していただけるテーマの設定等の工夫が必要である。

今後も、時期、開催場所、内容を検討していく必要があると思われる。

平成29年11月29日

長久手市議会議長 加藤和男

議員派遣結果報告書

平成29年第3回長久手市議会定例会において議決された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1 件名

議会運営委員会所管事務調査

2 目的

議会運営に係る課題調査

3 派遣場所

石川県野々市市及び白山市

4 期日

平成29年10月30日（月）から31日（火）までの2日間

5 派遣議員

議長

6 概要

- (1) 野々市市議会における予算決算常任委員会の分科会方式による審査について

ア 経緯

3月に予算特別委員会（全議員）、9月に決算特別委員会（議長及び監査委員を除く全議員）を設置していたが、1年通して予算関連の議案があることから、平成27年度から全議員で構成する予算決算常任委員会を設置した。補正予算及び当初予算を一括付託することにより、議案一帯の原則から適当ではないとされている補正予算の分割付託が解消され、補正予算及び当初予算の一体的な審査が可能となる。詳細な審査は、予算決算常任委員会に分科会（常任委員単位）を設けて行うものとした。

イ 効果

全体会での質疑が活発であるため、分科会での質疑は少なくなっている。

この運営方法は、補正予算、当初予算には全員が関わりたいとの議員の意向により取り入れた。

予算決算常任委員会においては、総括質疑または常任委員会の所管以外の部のみ質疑できる方法とすることで、分科会での詳細な審査が可能になると考える。

(2) 白山市議会における予算、決算常任委員会による審査について

ア 経緯

平成25年8月に決算・予算審議のあり方について、議会運営委員会で検討してはどうかと議題となる。平成26年1月に先進地（四日市市・三重県議会）への視察を実施し、同年12月会議で可決、3月会議から執行することとなった。

議会運営委員会に総務部長及び総務課長が毎回出席しているため、執行部は常任委員会化の検討段階から状況を把握していた。執行部と本格的に調整を始めたのは、議会としての方向性がまとまった、平成26年9月会議以降であり、3か月程度の期間になる。

イ 効果

会期日程は決算分科会自体が各常任委員会に引き続き開催されるため、新たに日程を設ける必要がないため、特に長くなっていない。常任委員会にして3年が経過したが、当面はこのままで進めていくことにしている。

7 所感

野々市市議会の予算決算常任委員会は、全議員で行われ、議長は委員を辞任しオブザーバーとして出席、質疑はできるが採決には加わらないとしている。監査委員は、決算審査において質疑及び採決には加わらないとしている。

常任委員会化する前は、予算・決算審査は特別委員会で実施し、分割審査で行われていた。したがって予算決算常任委員会化はスムーズに移行できたと思われる。長久手市議会では、分割審査を行っていないため移行には様々な課題があると思われる。

白山市議会では、平成25年9月より通年議会を導入、平成27年3月より予算・決算常任委員会を設置し、議長を除く全議員で分科会方式を採用している。野々市市議会の予算・決算常任委員会化は、白山市議会を参考にしていると言われていた。

平成29年11月29日

長久手市議会議長 加藤和男

議員派遣結果報告書

平成29年第3回長久手市議会定例会において議決された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

1 件名

第12回全国市議会議長会研究フォーラム

2 目的

議会の機能向上策の研究

3 派遣場所

兵庫県姫路市

4 期日

平成29年11月15日（水）から11月16日（木）までの2日間

5 派遣議員

議長

6 概要

(1) 基調講演「議会改革の実績と議会力の向上-政策創造の立法部を考える-」

中邨 章氏 明治大学名誉教授

ア 変わる地方議会 議会基本条例の10年

北海道栗山町議会、三重県議会が議会基本条例を制定してから10年経った。平成27年現在、444市（54.6%）が制定。制定により議会に関する意識、認識、知識が深まった。

イ 地方議会の政策展望 電子政府への試み／エストニアから学ぶ

これからの議員像は、国・首長に立ち向かう議員、“Look Around”=外部志向の強い議員、ICTを駆使できる議員、勉強する議員、族を目指す議員、昔を振り向かない議員である。

(2) パネルディスカッション 「議会改革をどう進めていくか」

コーディネーター（人羅 格氏 毎日新聞社論説副委員長）

パネリスト

新川達郎氏 同志社大学大学院総合政策科学研究科・政策学部教授

大山礼子氏 駒澤大学法学部教授

金井利之氏 東京大学大学院法学部研究科教授

川西忠信氏 姫路市議会議長

主な意見として、

- ・ 住民にとって魅力ある議会になるためには、チェック機関としての役割だけでなく、住民と連携して政策をつくることが大切である。
- ・ 議員提案の政策条例は、ほとんど役に立たない抽象的・理念的なものに過ぎない。むしろ予算こそが議会の権力闘争の主戦場である。
- ・ 相対的な議会人材の力量向上、議員一人ひとりの専門性向上、議会事務局職員の専門性向上、議員や会派の補助スタッフの専門性向上を目指す。
- ・ 姫路市議会の特徴として、各会派において予算要望し、全局に渡りヒアリングを行い、市長へ提出している。

(3) 課題討議 「議会基本条例のこれまでとこれからを考える」

コーディネーター（新川達郎氏 同志社大学大学院総合政策科学研究科・政策学部教授）

事例報告者

目黒章三郎 会津若松市議会議長

- ・ 中学校の公民の教科書を見たことがあるか。確認したほうがいい。
- ・ 議長選挙での所信表明、請願・陳情者の意見陳述、議員間討議、タウンミーティング時の市民の声を政策化する仕組みづくりを実施。

豊田政典氏 四日市市議会議長

- ・ 通年議会を実施している。メリットはあるがデメリットはない。
- ・ 市民との情報共有、市民参加の推進、議員間討議及び政策提案を基本方針の3本柱としている。
- ・ 各常任委員会における所感事務調査事項決定の参考とするために、市民からの調査テーマの提案を実施している。

盛 泰子氏 伊万里市議会前議長

- ・ 議長就任の際に所信表明で2つの約束をした。
- ・ 一つは「学ぶ」研修の場づくり。初めは予算がないので議長の政務活動費で研修会を2年間で11回開催した。近隣市町の議員や事務局も参加した。
- ・ 二つ目は、「伝える」定例記者会見を行い、ケーブルテレビで「議会の今」を語った。